

ゲームをするより伝統的教材・百人一首をしよう

校長 柏木博之

12月11日(火)に校内百人一首・カルタ大会を実施しました。【右の記事を参照してください】

百人一首は藤原定家が選んだ和歌集からはじまり、千年もの長い間、日本人の生活に存在してきた文化です。学校で教えている文化の中で、千年以上も生き続けているものの代表が百人一首です。

百人一首が今のような厚紙の札になったのは江戸時代といわれています。それ以前は、貝殻に歌が書かれていたそうです。授業中に百首全部すると30分以上かかります。そこで、東京の小学校の先生が、二十首ずつ五つの色に分けた「五色百人一首」を作りました。下の句が書いてある取り札が青・ピンク・黄・緑・オレンジに分けてあります。20枚の一試合が3分以内に終わります。国語の授業の始まりにやる先生が日本中にたくさんいます。

百人一首には不思議な力があります。どんな力かという、これをする子どもたちが熱中し学級がまとまります。担任の先生が「仲のよいクラスにしよう」と何十回いっても仲よくならなかったクラスが、百人一首を5回やれば仲よくなれます。だから、私は担任をしていたとき、よく「五色百人一首」をしていました。20年ぐらい前は、販売していなかったの、子どもたちと色画用紙に印刷したものから作って使っていました。以前勤務した学校で、休みの先生の代わりに「五色百人一首」を段ボール箱に入れて授業にいき、「百人一首をします」というと、中学生でも「イエーイ!」と喜んでいました。2回目からは段ボール箱を見ただけで「やった〜」という声が出ました。遊べるからかもしれませんが、それでいいのです。遊びながら力がつきます。ルールを守る力がつきます。

百人一首の効果は、他にもあります。まず、「暗記する」ということに抵抗がなくなり、学習により結果をもたらします。脳の発達に「暗唱」は絶対に必要なことです。暗唱をさせないことは、子どもの脳を開発していないこととなります。「門前の小僧、習わぬ経を読む」です。(英語にも同様のことわざがありました。「A saint's maid quotes Latin.」聖人の家の手伝いはラテン語を引用する。)そして、「ことば」に対する感覚がみがかれていきます。ことばのリズムが身につくことで、国語の力がついていきます。小学生は中学・高校での古典の学習で抵抗がなくなります。

本校の大会では、小1の心夏さんが大活躍していました。授業や家で取り組んでいっぱい覚えていて、上の句を読んだだけで取った札がたくさんありました。お姉さんの小2夏菜さんは中学生に混じって、本物の百人一首をしました。中学生と同じくらい札を取っていました。数週間取り組んだだけでこんなに力がつくんだとびっくりしました。

12月21日(金)終業式の日、冬至です。もう17時半には真っ暗になってしまいます。夕方、外で遊ぶ時間は少ないからといって家の中でゲームをしないで「五色百人一首」をしてほしいです。冬休み、家族で百人一首をしてみてください。

最後に、平成24年がもうすぐ終わります。来る25年がよい年になるよう学校は今後も頑張ります。保護者・地域の皆様も、よいお年をお迎えください。そして、来年もよろしくお祈りします。



「サザンカ冷たい風が吹く中、きれいな花を咲かせていました。」

持久走大会

13日(木)に持久走大会を実施しました。この時期には珍しく暖かい好天に恵まれ、沿道で応援してくださる保護者や地域の方々の励ましの声がさらに子ども達にとって大きな後押しとなり、全員が無事完走することができました。子ども達にとっては、これまでの体育の時間や自主的な練習などで一生懸命取り組んできた成果が出される場となりました。今年は、子ども達の体力が向上し、新記録がたくさん出ました。最後まで子ども達一人一人に温かい御声援をくださり、本当にありがとうございました。また、当日及び練習期間中にコースの安全のためにご協力いただいた工事関係者の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。



百人一首・カルタ大会

11日(火)に百人一首・カルタ大会を実施しました。子ども達は、集中して札を取り合い、その度に一喜一憂していました。今年は、小学生も全員百人一首に取り組んでみました。日本の伝統文化に親しむ大変よい機会となりました。



ファミリー給食

5日(水)にファミリー給食を実施しました。保護者の方々には、子ども達が給食を準備している様子や学校給食の献立内容などを見ていただきました。子ども達にとっても保護者の方々と一緒にいろいろと会話を楽しみながら給食を食べることができたことがよかったです。



携帯安全教室(13日:木) 福岡から携帯電話の会社の方に講師としてお越しいただき、実施しました。携帯電話の危険性について知り、安全な使い方について分かりやすく教えていただきました。



生活科フェスティバル(14日:金) 小学1・2年生が生活科で学んだことを元にフェスティバル開き、みんなを招待しました。



霜月祭(17日:月) 小中学生の男子が地区「霜月祭」に参加しました。習わしの通り、目の周りに筆で丸をかいて参加しました。

校内人権旬間

5日(水)は、授業参観の日でした。校内人権旬間の期間中であつたこの日、その一環として全学級人権に関する道徳の授業参観を実施しました。授業の中で子ども達は、これまでの自分の経験と資料の様子とを照らし合わせながら、思いやりや差別をしない心などについて、話し合っていました。また、人権に関する標語を作成し、思いやりの心などについての考えを表現しました。



同充中今
努力実心
力に後
して向し
てたも
まいて、道
まいて、徳
りまの授
す。業育
の

林栄養教諭「食に関する指導」

7日(水)~8日(木)に、林栄養教諭による食に関する授業を実施しました。林栄養教諭は、発達段階に応じて、食の大切さなどについて子ども達自身に考えさせたり、分かりやすく説明したりしていました。子ども会活動で採った筍を給食に活用するなど、地産地消の推進も含めて、本校ならではの食育をさらに充実させていきます。

